

県立大生が消防応援隊

3年連続、県認定

県立大（総社市窪木）の学生が消防応援隊を結成、消防や防災の知識を学び技術も習得する2017年度の公認サークルとして県の認定を受けた。

（古川和宏）

消防応援隊は3年連続の認定。17年度の隊員は、16年度からの継続メンバーの2〜4年生10人。17年度は、救急救命講習や消防団員研修の受講のほか、学内や地域の防災訓練に参加する。現在1人が防災士の資格を取得しており、ほかのメンバーも取得を目指すという。

同大で6日、認定式があり、善勝剛志県消防保安課長が「地域防災の担い手となってほしい」とあいさつし、代表の情報

講習受講や訓練参加

工学部3年深津直也さん（21）に認定証を手渡した。深津さんは「消防団の仕事や役割を同世代に伝えていけるよう、率先して活動したい」と話した。

県は、消防団の活動を若い世代に知ってもらい、減少する消防団員の



青い制服姿で消防応援隊の認定式に臨む県立大生

確保につなげようと、15（津山市北園町）の県内

年度から県内の大学消防2団体を認定していた。

応援隊を公認サークルとして認定。制服を貸与す

少傾向で17年4月現在、

るほか、訓練用の自動体

2万8162人。このう

ち学生の消防団員数は63

人で、07年4月の16人か

ら増えている。総社市内

の消防団員数は972

人と美作大・短期大学部

人。